

花と緑のネットワーク通信

No. 4 (2010年6月1日発行)



花と緑のまちづくり 交流ワークショップがスタートしました

5月18日(火)、北区民センターで第1回「花と緑のまちづくり・交流ワークショップ in 北区」を開催しました。進行役は、NPO法人 人まち育てI&Iの坂本純科さんです。

北区在住のタウンガーデナーなど21名が参加し、まずは自己紹介「取り組んでいること(したいこと)」や「ワークショップへの期待」を話し合いました。自宅の庭づくりをしている人、コミュニティガーデンに参加している人、これから活動をはじめようとしている人などさまざまですが、共通しているのは、仲間をつくりたい、花が好きという2点です。



休憩を挟んで、ワールドカフェ(註)という方法で、①タウンガーデナー、②地域・つながり・協働、③具体的場所(花や緑のみどころ)、④悩み・課題、という4つのテーマで、4つのテーブル(=カフェ)に分かれて話し合いました。

事務局の私は「悩み・課題」カフェのオーナー役を務めました。カフェでのやりとりを以下にご紹介します。

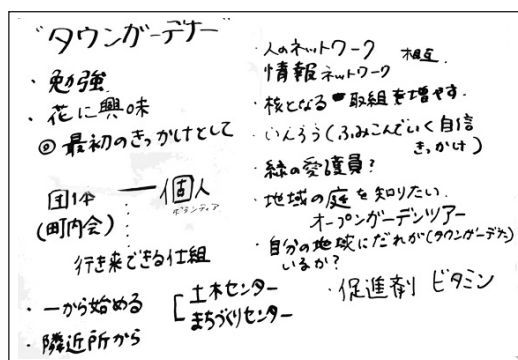
ある団体のメンバーの方の悩みは、若い人が入ってこないことで、「発足して10年経って、60代は70代、70代は80代に。足腰が痛くなる人も出てくるし、このままじゃドライフラワーになっちゃう」と、ユーモアもたっぷりに話してくれました。その発言に呼応して「町内会だってそうだよ」「事故も心配になるね」と共感する人もいれば、「地域の新聞で呼びかけたり、回覧板を使ったら」とアドバイスする人もいました。こうした発言に促されて、悩みを口にされたご本人からも「フリマ

とか地域の人向けのイベントもしてるのだけど」と、他の人にも参考になりそうな工夫が伝えられました。

また、「仲間が欲しい」という声には、「近所にバラを育てている家が何軒かあるから、虫や剪定についての失敗談や工夫を話し合う集まりを開きたい」という具体的プランを紹介する人や、「活動団体をつくるノウハウを学びたい」という提案もあげられました。

引き続き北区では、第4回までワークショップを行います。2回目の6月22日(火)は活動事例紹介です。進行役の坂本純科さんに、イギリスで行われている種の交換会などの実践例を話していただいたり、地域の団体の方に活動紹介をしていただく予定です。

今後は、他区でもワークショップを開催し、タウンガーデナー同士の交流を深め、一緒にできることを模索したり、花と緑のまちづくりのイメージを共有していきたいと思います。開催地の近くにお住まいの方はぜひご参加ください。(東区での開催も決定しました。詳細は同封のチラシをご覧ください。)



タウンガーデナーカフェの話し合いから

(註) ワールドカフェとは、複数のテーマについて、カフェに見立てたいくつかのテーブルに分かれて、同時に話し合う方法です。たとえば「タウンガーデナー」カフェに関心のある人は、まずそのテーブルに集い、意見を交わし合います。その後それぞれ別のカフェに移動して、そこに集った新しいメンバーと話します。そんなふうにかフェからカフェへとハシゴして、さまざまなテーマでたくさんの人と話します。

(事務局：都築)

札幌市役所前 コンテナガーデン



4月にみなさんにお知らせした札幌市役所前のコンテナガーデンづくり。15名のタウンガーデナーが協力し、コンテナへの植栽が完了したのでご報告します。

4月28日（水）、花と緑のネットワーク事務局で説明会を開催。参加者同士の自己紹介の後、植栽デザインを検討しました。今回植栽するのは幅1m、奥行き45cm、高さ50cmの大きなコンテナです。コンテナ作りのベテランさんも初心者さんも意見を出し合って、背の高いメドーセージやガウラ、垂れ下がるように茂ってくるペチュニアやアリッサムなど12種類33株の苗を配置することに決定しました。

晴天に恵まれた 5月22日（土）午後、市役所玄関前に参加者全員が集合し、「市役所前おもてなし花壇ボラ



ンティア」の名札を付けて作業を開始しました。タウンガーデナーに割り当てられたのは東側通路沿いの5基のコンテナで、三人ひと組で1基を担当しました。作成したデザインに沿って、全体のバランスをとりながら植え込みました。日当たりの良い場所でしたが、風が強いのでガウラには急遽支柱も立て、最後にAMAサポーターズ倶楽部代表の走川貴美さんに手入れ方法を教えていただき、作業は無事終了しました。9月上旬までの展示期間中、きれいな花を楽しんでもらえるよう、この後もメンバーが交代で手入れをします。

タウンガーデナーの他、AMAサポーターズ倶楽部、ガーデニングリラの会、グリーンエプロンズ、豊平公園花とハーブの会、やさしさ・ジェントル、（地独）林業試験場も参加しています。近くをお通りの際は、ぜひ見に来てください！

（事務局：岩谷）

花と緑 の本棚

『2010 オープンガーデン オフ 北海道』

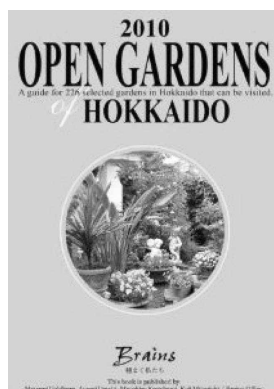
毎年 4 月に発行されている、北海道のオープンガーデンを紹介しているガイドブックです。

オープンガーデンとは個人の庭を一般公開する英国発祥の活動で、ガーデニング愛好者同士や地域の方との交流、まちの景観づくりに役立っています。本書を発行しているブレインズは 10 年前からオープンガーデンを広める活動をはじめ、交流会やツアーなどのイベントを通してガーデナーのネットワークづくりに貢献しています。

この本には、札幌はもちろん、道内のオープンガーデンがすべてカラーで掲載されています。たくさんのバラに囲まれた欧風の庭や、樹木や宿根草が茂る森のような庭など、さまざまな趣向でつ

くられた庭が 226 件紹介されています。

身近な所に素敵な庭があるかもしれません。この本でみつけたお気に入りの庭を訪ね、ガーデナー同士の交流を広げてみてはいかがでしょうか？



発行…ブレインズ
販売場所…コープ・ガーデン月形本店
百合が原公園店をはじめ、道内の一部書店、園芸店など
定価…1050円（税込）

まちのガーデナー紹介

安孫子 久枝さん(豊平区)



やっと暖かくなってきた 5 月下旬、豊平区のタウンガーデナー安孫子久枝さんのお宅を訪ねました。

家の前にはやさしい色合いのチューリップやピオウなどの寄せ植えがならび、思わず笑みがこぼれます。安孫子さんが自宅の前で花の世話をしていると、道行く人から質問攻めにあうというのも納得です。

ガーデニング歴 20 年。趣味とはいえ、多くの経験を積んでいる安孫子さんを頼りにする人はたくさんいます。そんなお知り合いからの相談に応えているうちに、自宅の庭から飛び出してガーデニングをする機会も増えてきました。親戚のケーキ店に飾るハンギングバスケットを作ったり、あるお寺では、婦人部の方々と一緒に、境内に飾るコンテナの植栽をしています。

徐々に活動の場が広がるにつれ、デザイン、管理方法など幅広い知識や技術の必要性を感じるようになり、折に触れ勉強を続けています。この 3 月には 1 年間に渡って受講したさっぽろ緑花園芸学校を修了、5 月に

は RHSJ (英国王立園芸協会日本支部) のコンテナガーデニング・マスターを取得しました。「勉強するのは大変だけど、好きなことだから苦にならないの。行く先々で友達が増えて本当に楽しいのよ」。

現在 3 つのボランティア団体に所属している安孫子さん。花壇の植栽や公園のガイドなど活動内容もさまざまです。「みんなに喜んでもらえると嬉しいし、達成感も味わえる。これからは、地域のためになるボランティアがしたいわ。ずっと札幌で暮らしていてお世話になっているから」。楽しみながら、ますます活動の幅をひろげていきます。



安孫子さん(上)と
自作の寄せ植え(左)

(事務局：岩谷)

ボランティア団体紹介

あいの里花クラブ



5月16日(日)、あいの里公園駅そばの延長300mを超える緑地帯で、「あいの里花くらぶ」の初の植込み作業が行なわれました。小さな子ども連れの若い主婦の方や年配の男性、自宅の庭の植込みを後回しにして参加してくれた女性など、約10名が集まり、自分たちの手で育て上げたマリーゴールドとアマの苗、町内会から分けてもらった数種類の花苗を植込み、ナス、タチウムの種も直蒔きしました。あたたかくなるにつれて、色彩豊かな花壇へと育っていきそうです。

「あいの里花クラブ」が正式に発足したのはこの3月。代表を務める別所常男さんの呼びかけがきっかけです。タウンガーデナーでもある別所さんは大の花好きで、2年前にあいの里に引っ越してきましたが、自宅そばの草ぼうぼうの緑地帯が気になっていました。そこで今年1月に、一人でも取り組むつもりで、北区土木センターに花を植えたいと相談し、2月には近所

の方々に声をかけて団体をつくる準備をしながら、北区役所に種と育苗資材の補助申請をしました。この間、町内会に相談したり、土木センターに種の支援を求めるなど、地域の理解と協力を得るよう努めてきました。団体発足後の4月初旬には、雪をかき分けながら土をおこし、その後、造園業者に掛け合って、腐葉土の提供、搬入、攪拌に協力をしてもらいました。

現在のメンバーは14名。毎朝一人でも作業する人、自宅に花を植える場所がないので、活動の場ができたことを喜び、仕事の後毎日のように駆けつける人もいます。そんな人たちの思いを活かしながら、好きな時に自由に活動に参加できるスタイルで「あいの里花くらぶ」を運営していきたいと別所さんは考えています。今後の展開が楽しみです。

(事務局：都築)



植込み作業。300mを超える緑地帯

代表者：別所 常男

連絡先：北区あいの里3条9丁目 TEL011-778-1887



インフォメーション



豊平公園 ハーブフェア

約40種類のハーブを展示し、その効能や利用方法の紹介します。「豊平公園花とハーブの会」会員によるハーブティーのサービスもあります。

- ◆期間：6月15日（火）～6月27日（日）
※6月21日（月）は休館日
- ◆開館時間：8:45～17:15
※ハーブティーの試飲 11:00～14:00
- ◆内容：・ハーブコレクションの展示、
ハーブ苗の販売
・レカンフラワーの展示
（新しいドライフラワーアート）
・初めてのハーブ寄せ植え教室
6月26日（土）13:30 材料費実費
※教室は申し込みが必要です
- ◆場所：豊平公園緑のセンター
- ◆問い合わせ：豊平公園 TEL 011-811-6568

「すくすくみどり」配布中！

札幌市公園緑化協会が発行している緑と花の手引書、「すくすくみどり」第22号の配布が始まりました。今回のテーマは「植物リサイクル」。たい肥の種類や特徴、使い方の紹介のほか、落ち葉たい肥の作り方について詳しく説明しています。

- ◆内容：植物リサイクル ーたい肥づくりー
- ◆配布場所：札幌市役所、各区役所、百合が原公園、豊平公園緑のセンターなど
※最新号を含め、バックナンバーをホームページからダウンロードすることもできます
<http://www.sapporo-park.or.jp/kikin/sukusukut.html>
- ◆問い合わせ：（財）札幌市公園緑化協会
TEL 011-211-2579

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況

（2010年6月1日現在）

さっぽろタウンガーデナー（252名）			
中央区	24名	北区	52名
西区	16名	東区	41名
豊平区	18名	南区	22名
白石区	9名	厚別区	28名
清田区	10名	手稲区	25名
その他	7名		
花と緑のボランティア団体（全17団体）			
4月以降の新規登録団体			
あるば・ローズ			
北8ー北11 フラワー創遊会			

全国花のまちづくりコンクール

全国各地で取り組まれている花や緑による活動を顕彰し、広く紹介します。本年度より賞の内容を一部変更し、受賞数が増えました。花壇デザインなどの評価だけでなく、地域の文化や身近な自然を大切に活性化を図るなど、まちづくりの取り組みや社会性を評価するコンクールです。

- ◆募集期間：6月1日（火）～7月9日（金）
- ◆対象：
 - ・団体部門：住民が主体となった、公共性の高い団体などによる取り組み。集合住宅のポーチ等の共用空間、街路・道路、公園・広場などでの活動。
 - ・個人部門：家庭での取り組み（単独または連名）。道路沿いの塀、生垣や庭、バルコニー、テラス、窓、壁など。
- ◆入賞者には「花とみどりのギフト券」を贈呈
- ◆問い合わせ：公益財団法人 日本花の会
コンクール事務局
TEL 03-3584-6531
<http://www.hananokai.or.jp>

掲載情報募集しています

イベント案内・ボランティア募集など、掲載希望の情報がありましたら、事務局にお知らせください。
情報締切：奇数月15日（次月と次々月の情報を掲載）
※都合により掲載できない場合もあります。

ジェントルフェスティバル

市立札幌病院で活動している「やさしさ・ジェントル」が、院内で働く方々、患者さん、ボランティアそしてその家族のみなさんとイベントを開催します。園芸部員が育てた花苗等の販売もあります。お気軽にお越しください。

- ◆内容：活動費のためのバザーや手芸品の展示
- ◆日時：6月21日（月）11:30～13:00
- ◆場所：札幌市立病院 2階講堂
- ◆問い合わせ：市立札幌病院ボランティアの会
やさしさ・ジェントル
TEL 011-726-2211（内線2281）

【発行・編集】

さっぽろ花と緑のネットワーク事務局
札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階
財団法人札幌市公園緑化協会内
TEL：011-251-3309 FAX：011-211-2577
E-mail: flowers@sapporo-park.or.jp

